

**令和 6 年度第 1 回佐久市地域公共交通確保維持改善協議会
兼 佐久市地域公共交通会議 会議録**

日時：令和 6 年 6 月 2 7 日（木）

14:00～15:00

場所：佐久市役所 8 階 大会議室

1 開 会

2 あいさつ

・畠山会長よりあいさつ

3 報告事項

（１）佐久市公共交通の利用実績について

事務局より、「地域公共交通利用実績(月別)」【資料 1】の説明。

（２）デマンドワゴンさくっと本格運行の状況について

事務局より、「デマンドワゴンさくっと令和 5 年度状況(R 5. 4 ～R 6. 3)」【資料 2】の説明。

委 員 利用が昨年度より伸びているが、実証運行から本格運行への移行に伴う大きな変更点はあるか。

事 務 局 車両を 4 台増車しており、利用者増加の要因の一つと考えている。

委 員 車両台数が増えたということは、今までよりも予約を受けやすくなったと言えるが、さらに需要が増えていった場合も増車をしていくのか。

事 務 局 今後も増車を続けるということは難しい。乗合率を高めるための工夫や、エリア・車両ごとの予約件数、予約不成立件数などの状況を分析する中で効率的な運行を実施するための見直しにより対応していきたい。

委 員 乗合率はどれくらいか。

事 務 局 1. 5 人程度となっている。

委 員 その人数は家族と一緒に乗車した場合も含んで算出した人数か。

事 務 局 お見込みのとおり。

委 員 そうだとすると、そこまで高くはない。増車しないのであれば、予約が取れないことに対し利用者からの不満が予想される。そのため、料金の値上

げによって需要をコントロールすることも一つの手段として提起したい。
料金の値上げは様々な調整が必要だとは思いますが検討されてはどうか。

会 長 貴重なご意見として参考とさせていただきます。

委 員 山手線沿いの「うぐいすの森」という別荘地に引っ越してきた家庭があるが、親が車の免許を持っていないため、山手線の停留所まで出てくるのが大変ということで教育委員会の方で苦勞しているとのこと。デマンドワゴンさくつとで網羅することは難しいかもしれないが、何かよい方法を検討されたい。

また、市街地エリアというのは佐久平駅近辺と解釈してよいか。

事 務 局 「うぐいすの森」の通学の関係は教育委員会と確認していく。

市街地エリアは3つあり、A が市役所周辺、B が佐久平駅及び岩村田周辺、C が中込地区・野沢地区のまちなか周辺となっている。

委 員 野沢・中込地区の中でも市街地エリアにも分類されている場所があるということによいか。

事 務 局 中込駅周辺や野沢のまちなかなどは市街地エリアCに含まれる。

4 会議事項

(1) 令和5年度事業報告及び決算について

- ・事務局より、「令和5年度佐久市地域公共交通確保維持改善協議会 事業報告書」【資料3-1】、「令和5年度佐久市地域公共交通確保維持改善協議会 収支決算書」【資料3-2】、「監査報告書」【資料3-3】の説明。
- ・質疑はなく、承認された。

(2) 令和6年度事業計画(案)及び予算(案)について

- ・事務局より、「令和6年度佐久市地域公共交通確保維持改善協議会・佐久市地域公共交通会議事業計画(案)」【資料4-1】、「令和6年度佐久市地域公共交通確保維持改善協議会予算(案)」【資料4-2】の説明。

委 員 「デマンドワゴンさくつと利用者アンケート調査」の対象者は会員登録している方か。それとも、実際に利用したことがある方か。

事 務 局 昨年度と同様に今年度も利用したことのある方を対象として考えている。

委 員 会員のうち、過去1年間に利用したことのある方はどれくらいか。

事 務 局 およそ半分程度。

委 員 会員の中には頻繁には利用せずに一応登録のみしているという方もいる

と考えられる。そういった方の利用しない、利用できない理由についても潜在的な需要として把握することが重要ではないか。

事務局 アンケートの対象者については再検討する。

委員 乗合率の向上についてはアンケートによる意見の把握に基づく見直しを市で考えるだけでは難しいのではないか。近所同士で予定を合わせて一緒に買い物に行くなど、利用者主体で乗合のための工夫を促すことも検討してほしい。

事務局 参考とさせていただく。

・内容について承認された。

(3) 地域間幹線系統確保維持改善計画について

- ・事務局より、「地域間幹線系統別確保維持計画」【資料5】の説明。
- ・質疑はなく、承認された。

(4) 地域内フィーダー系統確保維持改善計画について

- ・事務局より、「地域内フィーダー系統確保維持改善計画」【資料6】の説明。
- ・質疑はなく、承認された。

5 その他

- ・事務局より、中仙道線、山手線の増便分の利用状況について説明。

委員 話題になっているライドシェアについて、今後は佐久市でも議論が必要になってくると思うが、その際は本協議会で議論していただきたい。

事務局 ご発言のとおり、本協議会で議論する。

委員 県の地域公共交通計画について、先日策定された。交通に係る情勢はめまぐるしく変化している。デジタル化への対応、人口減少、運転手などの人手不足など大きな課題もある。

県の地域公共交通計画においては、地域編という項目があり、10圏域それぞれでまとめている。市町村域を超えたつながりや圏域を跨ぐつながりの部分を県の計画の中で位置付け、通院・通学・観光の3つに対する交通の質の確保について圏域内で検討していきたいと考えているのでご承知をお願いしたい。

委 員 介護事業の有償送迎車両や介護タクシー等は本会議の議題になるか。

事 務 局 本会議の議題ではない。

6 閉会